

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2023年第46週
(11月13日～11月19日)

- * 2023年11月22日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「眼科感染症の動向」も掲載しています。

令和5年(2023年)11月24日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2023年46週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		43週	44週	45週	46週	年累計	46週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	42	39	40	34	1,773	239	12,663
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ					2		2
	細菌性赤痢	1			1	9	1	37
	腸管出血性大腸菌感染症	10	5	6	7	398	87	3,495
	腸チフス					8		35
	パラチフス					3		8
四類	E型肝炎	1	2	1	2	145	10	475
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1	2			12	1	50
	エキノкокクス症						1	13
	エムポックス	3		2	1	160	1	215
	黄熱							
	オウム病							8
	オムスク出血熱							
	回帰熱							21
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							3
	ジカウイルス感染症							1
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}						2	130
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					1		7
つつが虫病				2	7	31	205	
デング熱	2	2	1	1	43	6	151	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		43週	44週	45週	46週	年累計	46週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	6	493
	日本脳炎						1	6
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症	1				1		2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア			1		10	1	29
	野兔病							
	ライム病					1		29
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	6	2	1	4	149	33	2,024
レプトスピラ症			1		5	1	48	
ロッキー山紅斑熱								

2023/11/22集計

(全数把握対象疾患のコメント:一類～五類)

〈二類感染症〉

結核 34件 患者 21件(肺結核 14件、その他の結核 7件)、無症状病原体保有者 13件、年齢は10代 1件、20代 4件、30代 3件、40代 2件、50代 5件、60代 3件、70代 6件、80代 5件、90歳以上 5件、推定感染地は国内 26件、ネパール 1件、フィリピン 1件、不明 6件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 患者、菌種はsonnei (D群)、年齢は50代、推定感染地はバングラデシュ、推定感染経路は経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症 7件 患者 4件、無症状病原体保有者 3件、血清型・毒素型はO26 VT (型不明) 1件、O111 VT1 1件、O157 VT1・VT2 1件、O157とO25 VT1・VT2 1件、血清型不明VT1・VT2 2件、血清型不明VT1 1件、年齢は20代 2件、30代 3件、40代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 4件、パキスタン1件、不明 2件、推定感染経路は経口感染 5件、不明 2件であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 2件 患者、年齢は30代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 2件であった。

エムポックス 1件 性別は男性、年齢は30代、推定感染地は国内であった。

つつが虫病 2件 患者 2件、年齢は20代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件であった。

デング熱 1件 病型はデング熱、血清型は不明、年齢50代、推定感染地はタイ又はカンボジア又はベトナムであった。

レジオネラ症 4件 病型は肺炎型 4件、年齢は50代 3件、60代 1件、推定感染地は国内 3件、不明 1件、推定感染経路は水系感染 1件、不明 3件であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 1件 病型は腸管、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

ウイルス性肝炎 1件 病型はB型、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴は不明であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2023年46週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		43週	44週	45週	46週	年累計	46週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢		1	1	1	81	5	429
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	1		2	1	42	1	214
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	6	7	7	3	197	36	1,843
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く） ^{*1}					6		49
	急性脳炎 ^{*2}	3		1		36	8	529
	クリプトスポリジウム症					1		11
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		17	2	141
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5		2	4	109	16	758
	後天性免疫不全症候群	9	4	4	4	265	9	825
	ジアルジア症					10		35
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	1		43	4	481
	侵襲性髄膜炎菌感染症					2		15
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	6	9	5	180	33	1,579
	水痘(入院例に限る)				1	53	6	332
	先天性風しん症候群							
	梅毒	68	51	74	67	3,280	174	13,251
	播種性クリプトコックス症			2		16	1	152
	破傷風					6	2	99
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					9	1	110
百日咳	3	4			106	27	883	
風しん					4		11	
麻しん					7 ^{*3}		25	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					3		13	

2023/11/22集計

*1 2018年5月1日より追加指定された。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*3 遺伝子検査陰性1例を含む。

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 3件 病原菌は*Enterobacter cloacae* complex 2件、*Klebsiella pneumoniae* 1件、年齢は5歳未満 1件、30代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は以前からの保菌 2件、医療器具関連感染 1件（尿路カテーテル）、90日以内の海外渡航歴は渡航なし 3件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4件 血清群はA群 3件、G群 1件、年齢は30代 1件、50代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は創傷感染 1件、その他 1件、不明 2件であった。

後天性免疫不全症候群 4件 無症候キャリア 4件、性別は男性 4件、年齢は20代 2件、30代 2件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は同性間性的接触 4件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 5件 血清型は未実施 5件、年齢は5歳未満 1件、50代 2件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 3件、不明 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 4件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価4回接種済み 1件、接種なし 2件、不明 2件であった。

水痘(入院例) 1件 臨床診断例、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、水痘ワクチン接種歴は接種なしであった。

梅毒 67件 患者 53件（早期顕症梅毒Ⅰ期 30件、早期顕症梅毒Ⅱ期 23件）、無症候梅毒 14件、性別は男性 43件、女性 24件、年齢は10代 4件、20代 20件、30代 17件、40代 10件、50代 12件、60代 2件、70代 2件、推定感染地は国内 59件、米国又はカナダ 1件、不明 7件、推定感染経路は性的接触 61件（同性間 9件、異性間 45件、両性間 1件、性別不明 6件）、異性間性的接触又は静注薬物使用 1件、不明 5件であった。

※ 第44週該当分として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症 1件、〔五類〕侵襲性肺炎球菌感染症 1件、梅毒 1件の追加報告があった。

※ 第45週該当分として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症 1件、〔五類〕侵襲性肺炎球菌感染症 1件、梅毒 3件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2023年46週

上段:報告数 下段:定点当たり

定点種別	対象疾患	2023年				報告医療機関数	定点医療機関数
		43週	44週	45週	46週		
小児科	RSウイルス感染症	4	9	6	3	261	264
		0.02	0.03	0.02	0.01		
	咽頭結膜熱	686	716	912	917		
		2.63	2.73	3.48	3.51		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,115	1,094	1,167	1,269		
		4.27	4.18	4.45	4.86		
	感染性胃腸炎	962	967	1,132	1,459		
		3.69	3.69	4.32	5.59		
	水痘	31	40	52	63		
		0.12	0.15	0.20	0.24		
	手足口病	184	133	171	192		
		0.70	0.51	0.65	0.74		
	伝染性紅斑	14	7	5	5		
	0.05	0.03	0.02	0.02			
突発性発しん	49	52	73	48			
	0.19	0.20	0.28	0.18			
ヘルパンギーナ	25	17	27	17			
	0.10	0.06	0.10	0.07			
流行性耳下腺炎	13	8	18	10			
	0.05	0.03	0.07	0.04			
川崎病 ^{*1}	5		7	7			
	0.02		0.03	0.03			
不明発しん症 ^{*1}	6	9	13	9			
	0.02	0.03	0.05	0.03			
インフルエンザ/COVID-19	インフルエンザ ^{*2}	8,282	7,086	4,779	5,082	415	419
		19.91	16.99	11.46	12.25		
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	764	607	501	486		
		1.84	1.46	1.20	1.17		
眼科	急性出血性結膜炎				1	38	39
					0.03		
	流行性角結膜炎	44	43	30	31		
		1.13	1.10	0.77	0.82		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}	1				25	25
		0.04					
	無菌性髄膜炎		1	1	2		
			0.04	0.04	0.08		
	マイコプラズマ肺炎	2	1	5	1		
		0.08	0.04	0.20	0.04		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		1		1		
		0.04		0.04			
感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}							
インフルエンザ入院	24	36	31	40			
	0.96	1.44	1.24	1.60			
COVID-19入院	49	80	48	53			
	1.96	3.20	1.92	2.12			
2023/11/22集計							

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は12.25で、注意報レベルが続いています。
- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、3.51で警報レベルが継続しています。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は4.86で、今後の動向に注意が必要です。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2023年46週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
～5か月	1	2		7								
6～11か月		22	4	75	2	8	1	4			2	2
1歳	1	104	14	165	3	47		27	4	1		2
2歳		123	37	155		39	1	8	2	1	1	
3歳		125	79	135	2	35		4	3	2	1	
4歳		165	135	152	5	23	2	3	3		2	1
5歳		131	150	149	3	20		1			1	1
6歳		91	166	125	7	9						1
7歳	1	58	182	101	11	5			1	4		
8歳		32	141	93	9	2		1		2		
9歳		15	115	53	8							
10～14歳		23	172	123	13	3	1		2			1
15～19歳		1	7	32					2			
20～29歳		25	67	94		1						1
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80歳以上												
合計	3	917	1,269	1,459	63	192	5	48	17	10	7	9
先週比	-3	5	102	327	11	21		-25	-10	-8		-4

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	インフルエンザ/COVID-19		眼科			基幹					
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19入院
～5か月	7	5				1					2
6～11か月	18	5								1	
1歳	107	13		1							
2歳	104	10		1						2	
3歳	166	4		3						2	
4歳	226	6		3						1	
5歳	279	6								2	2
6歳	294	6		1						3	
7歳	321	3								1	
8歳	344	1					1			2	1
9歳	306	6								2	
10～14歳	1,074	29								5	1
15～19歳	511	26		1						5	
20～29歳	304	61		4							3
30～39歳	288	72	1	6							3
40～49歳	382	62		4						2	
50～59歳	223	67		2				1		1	5
60～69歳	72	44		2						2	2
70～79歳	36	37		3						4	15
80歳以上	20	23				1				5	19
合計	5,082	486	1	31		2	1	1		40	53
先週比	303	-15	1	1		1	-4	1		9	5

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2023年46週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
千代田	0.33	1.67	1.00	1.00								
中央区		3.67	3.00	16.33		1.33	0.33	0.33	0.33			0.33
みなと		3.17	2.83	2.33	0.67	0.67	0.17	0.33			0.17	
新宿区		0.86	2.57	3.29		0.57		0.14	0.14			0.14
文京		4.75	3.00	4.75		0.50						
台東		7.25	7.00	11.50	0.25	0.50		0.25				
墨田区		0.60	2.60	2.20								
江東区		4.67	4.89	5.33	0.22	1.11		0.11	0.11			
品川区		3.25	3.38	2.50		1.38		0.13				
目黒区		0.60	6.80	4.40		0.20		0.20				
大田区		5.46	6.31	7.77	0.38	0.15		0.08	0.15			
世田谷		1.73	7.13	6.93	0.47	0.93		0.20	0.07	0.13	0.13	0.07
渋谷区		2.25	0.50	3.00		0.25			0.25			
中野区		2.00	12.17	10.33	1.17	0.83		0.67			0.17	
杉並		1.45	2.55	4.45	0.36	0.55						
池袋		1.00	1.40	3.20	0.20	0.20		0.20	0.20			
北区		8.43	5.29	3.57	0.86	1.00		0.29				
荒川区		8.75	5.25	11.75		1.50		0.50				
板橋区		1.80	2.50	5.30		0.60	0.20	0.10				
練馬区		4.08	3.38	6.15	0.46	0.23		0.08	0.08	0.15		0.08
足立		5.00	2.23	5.85	0.08	0.15	0.08	0.23	0.15	0.08	0.15	
葛飾区		0.88	4.13	3.88		1.00		0.13				
江戸川		10.25	10.75	6.17	0.17	0.58		0.08			0.08	
八王子市		4.00	5.00	8.27	0.09	2.64		0.18	0.18			
町田市		3.13	3.00	7.00	0.13	0.63		0.38				
西多摩		1.00	3.00	2.75	0.13	0.50						0.13
南多摩		2.11	1.67	2.67	0.33	0.22		0.44		0.11		
多摩立川		0.64	4.43	3.43	0.14	0.43		0.07				0.07
多摩府中		2.62	6.14	4.67	0.43	0.52		0.19	0.19	0.14		0.14
多摩小平	0.07	6.79	9.50	9.64		1.71		0.43		0.07		
島しょ	1.00		5.00			5.00						

東京都	0.01	3.51	4.86	5.59	0.24	0.74	0.02	0.18	0.07	0.04	0.03	0.03
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	5.00	0.75				0.50				0.50	1.00
中央区	4.20	1.80		1.00							
みなと	6.44	0.89						1.00		2.00	2.00
新宿区	5.64	1.45		2.00						0.50	1.00
文京	12.43	1.71		1.00						1.00	
台東	13.71	0.71									
墨田区	14.13	2.13									2.00
江東区	6.43	1.29		1.00							
品川区	5.67	0.75		4.00							
目黒区	9.00	1.63									
大田区	8.86	0.86	0.50	0.50							
世田谷	10.26	1.09		1.50			0.50			3.00	0.50
渋谷区	5.71	1.86								1.00	4.00
中野区	21.40	1.10		4.00							
杉並	13.24	1.82		1.00						3.50	0.50
池袋	11.00	1.88		2.00							
北区	16.55	1.45									
荒川区	23.71	0.57		1.00							
板橋区	9.06	1.06		0.50						2.00	1.00
練馬区	10.29	0.86		0.50							
足立	13.20	1.20									
葛飾区	17.54	1.23								2.00	1.00
江戸川	9.26	1.37		0.50							
八王子市	17.33	1.17		0.50						2.00	12.00
町田市	11.62	1.85									
西多摩	11.71	0.57								1.00	
南多摩	12.21	1.14		2.00							
多摩立川	14.14	0.57									2.00
多摩府中	12.70	1.45		0.67		0.33				2.67	4.67
多摩小平	18.55	0.59								3.00	4.50
島しょ	53.50										

東京都	12.25	1.17	0.03	0.82		0.08	0.04	0.04		1.60	2.12
-----	-------	------	------	------	--	------	------	------	--	------	------

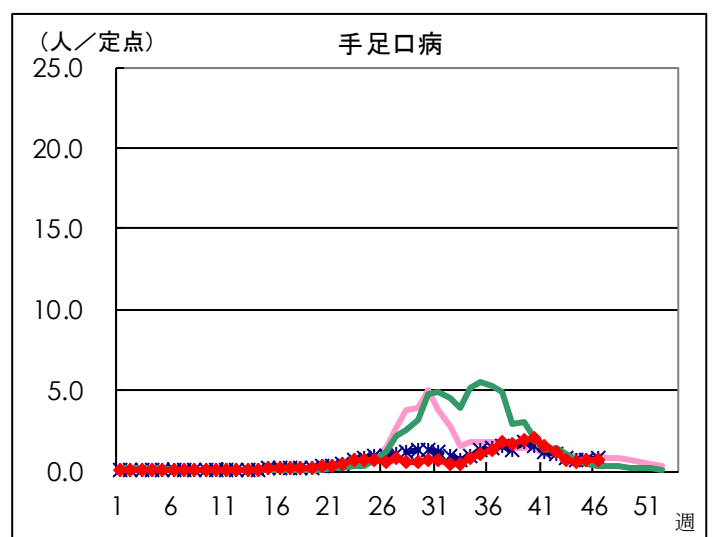
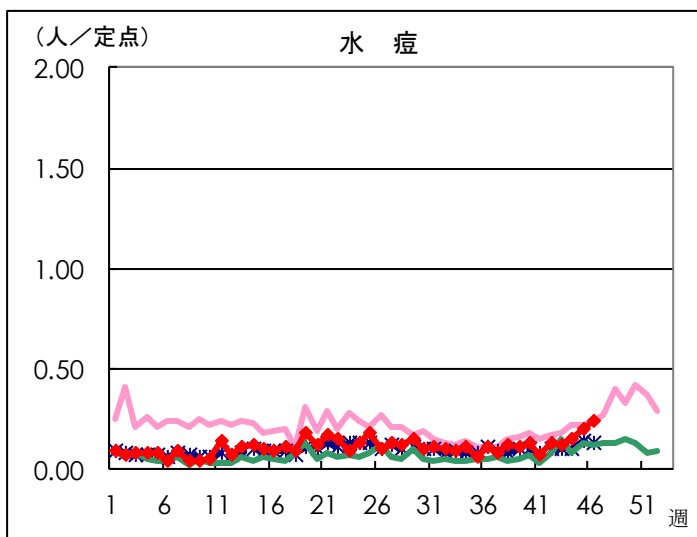
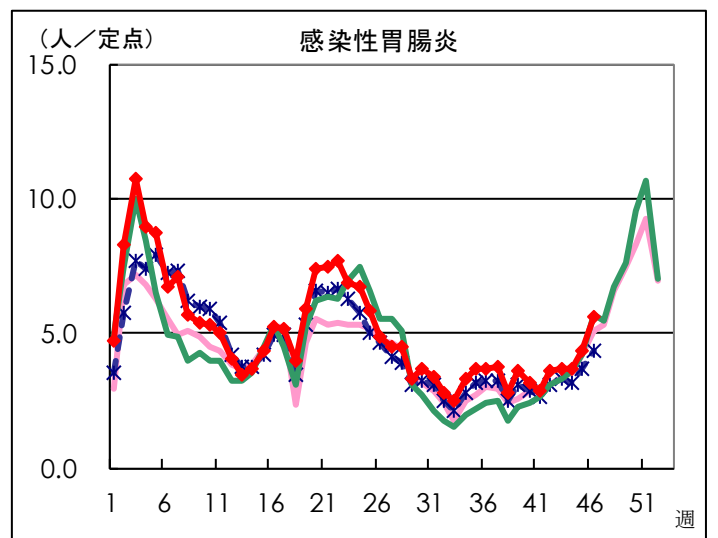
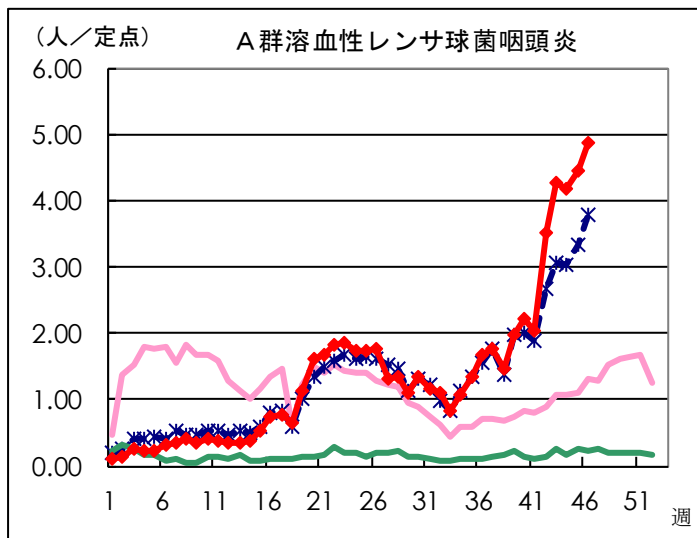
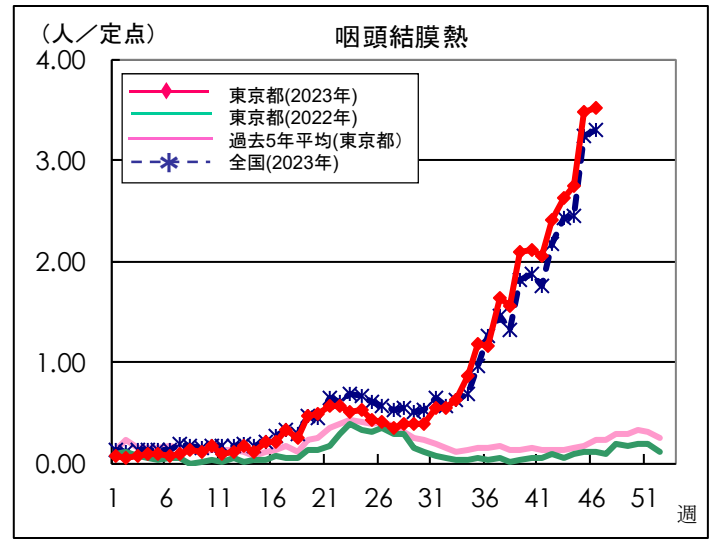
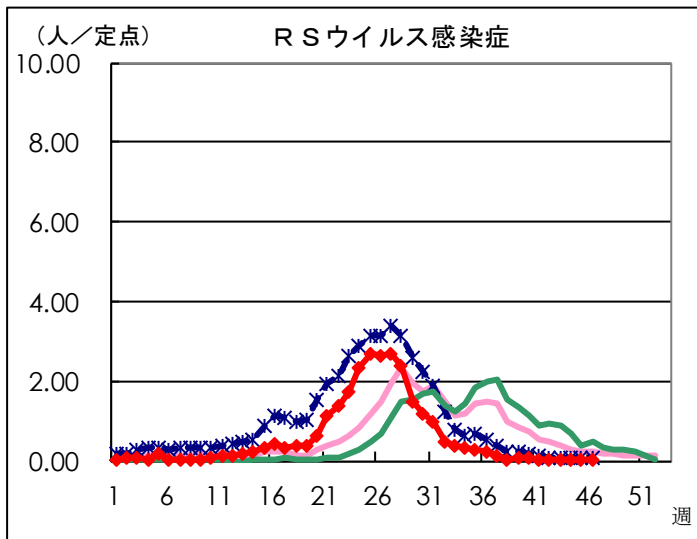
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2023年46週

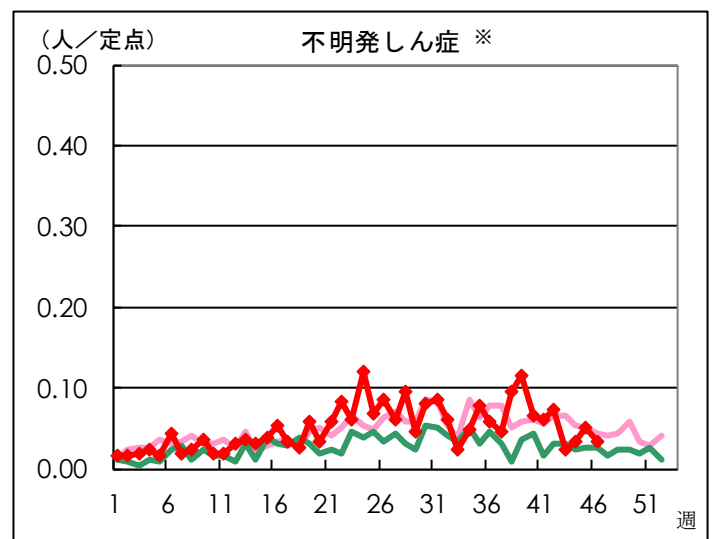
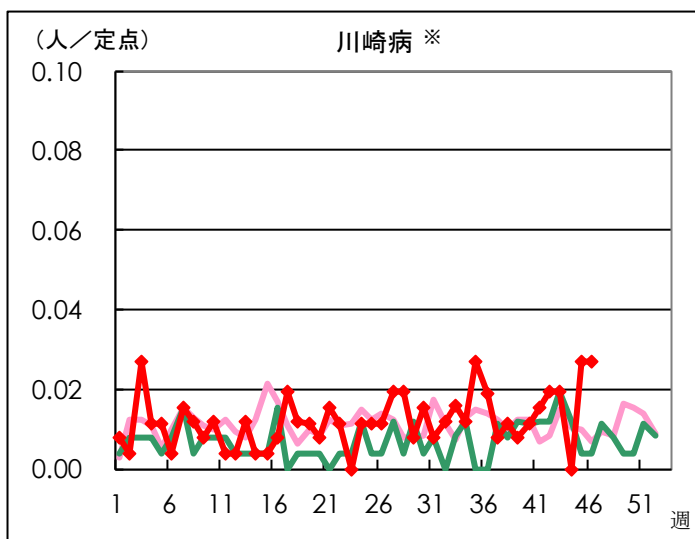
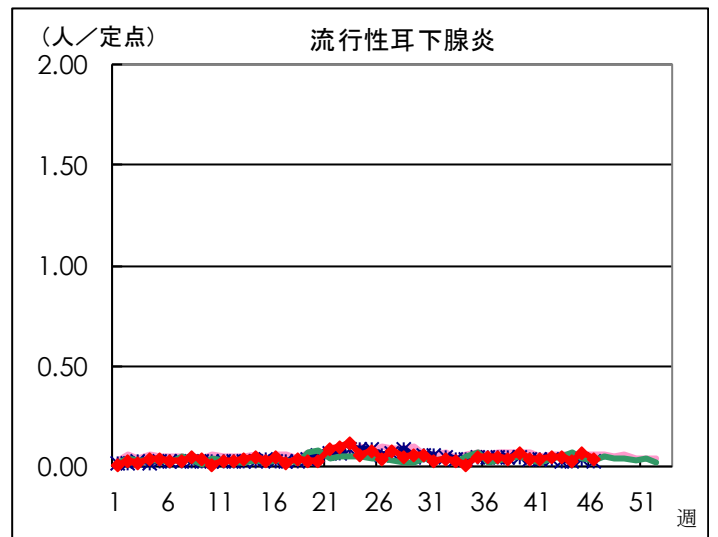
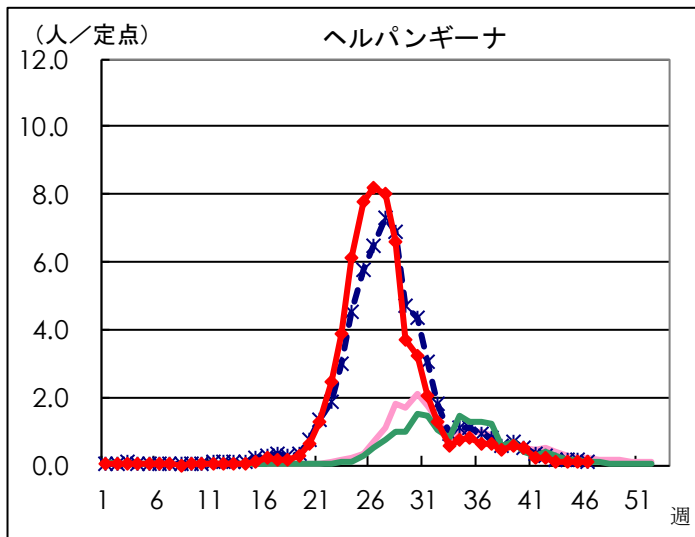
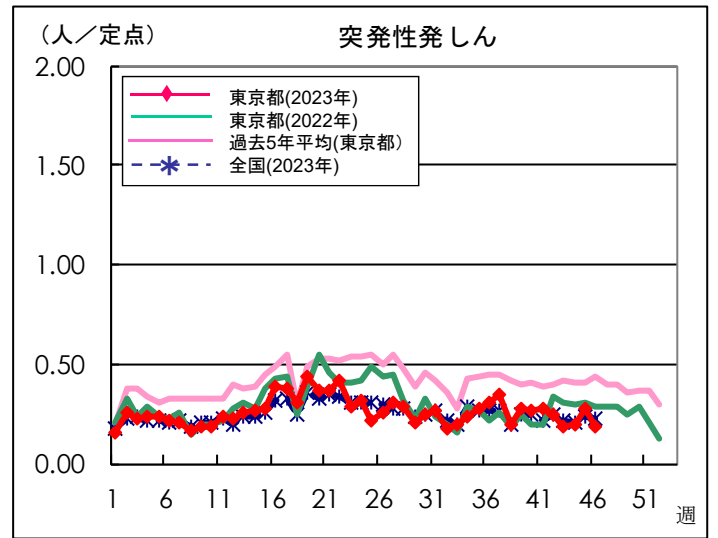
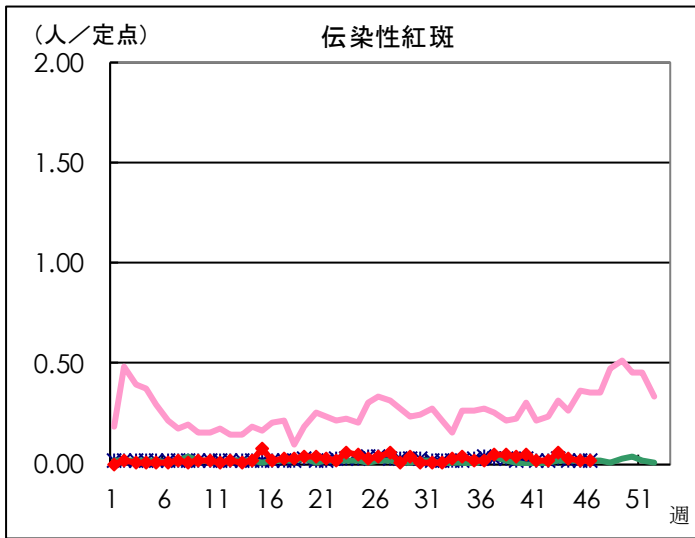
	小児科											
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
千代田	1	5	3	3								
中央区		11	9	49		4	1	1	1			1
みなと		19	17	14	4	4	1	2			1	
新宿区		6	18	23		4		1	1			1
文京		19	12	19		2						
台東		29	28	46	1	2		1				
墨田区		3	13	11								
江東区		42	44	48	2	10		1	1			
品川区		26	27	20		11		1				
目黒区		3	34	22		1		1				
大田区		71	82	101	5	2		1	2			
世田谷		26	107	104	7	14		3	1	2	2	1
渋谷区		9	2	12		1			1			
中野区		12	73	62	7	5		4			1	
杉並		16	28	49	4	6						
池袋		5	7	16	1	1		1	1			
北区		59	37	25	6	7		2				
荒川区		35	21	47		6		2				
板橋区		18	25	53		6	2	1				
練馬区		53	44	80	6	3		1	1	2		1
足立		65	29	76	1	2	1	3	2	1	2	
葛飾区		7	33	31		8		1				
江戸川		123	129	74	2	7		1			1	
八王子市		44	55	91	1	29		2	2			
町田市		25	24	56	1	5		3				
西多摩		8	24	22	1	4						1
南多摩		19	15	24	3	2		4		1		
多摩立川		9	62	48	2	6		1				1
多摩府中		55	129	98	9	11		4	4	3		3
多摩小平	1	95	133	135		24		6		1		
島しょ	1		5			5						
東京都合計	3	917	1,269	1,459	63	192	5	48	17	10	7	9

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	20	3				1				1	2
中央区	21	9		1							
みなと	58	8					1			2	2
新宿区	62	16		4						1	2
文京	87	12		1						1	
台東	96	5									
墨田区	113	17									2
江東区	90	18		1							
品川区	68	9		4							
目黒区	72	13									
大田区	186	18	1	1							
世田谷	236	25		3			1			6	1
渋谷区	40	13								1	4
中野区	214	11		4							
杉並	225	31		1						7	1
池袋	88	15		2							
北区	182	16									
荒川区	166	4		1							
板橋区	145	17		1						2	1
練馬区	216	18		1							
足立	264	24									
葛飾区	228	16								2	1
江戸川	176	26		1							
八王子市	312	21		1						2	12
町田市	151	24									
西多摩	164	8								1	
南多摩	171	16		2							
多摩立川	297	12									2
多摩府中	419	48		2		1				8	14
多摩小平	408	13								6	9
島しょ	107										
東京都合計	5,082	486	1	31		2	1	1		40	53

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2023年46週 現在)

◆ 小児科定点

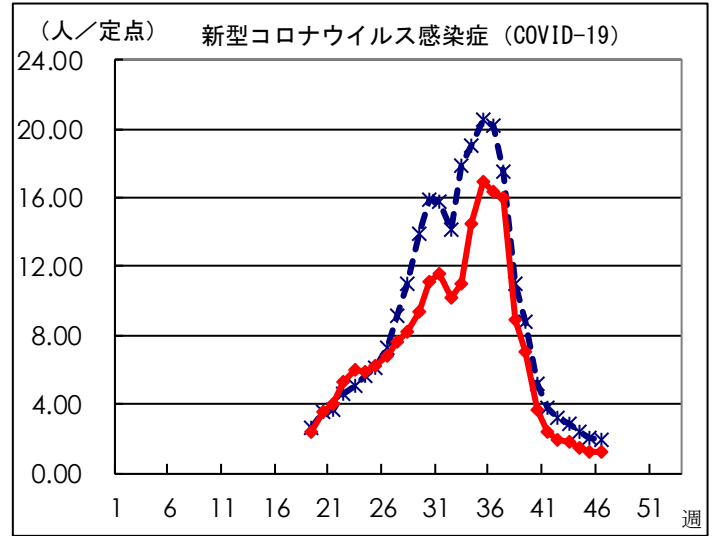
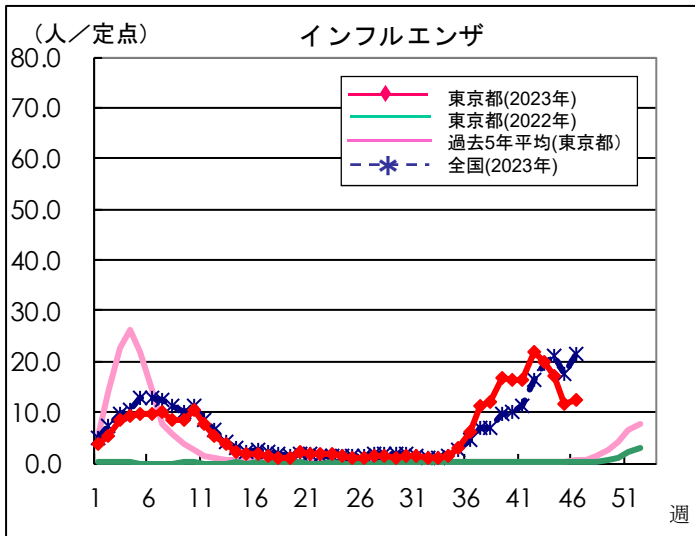




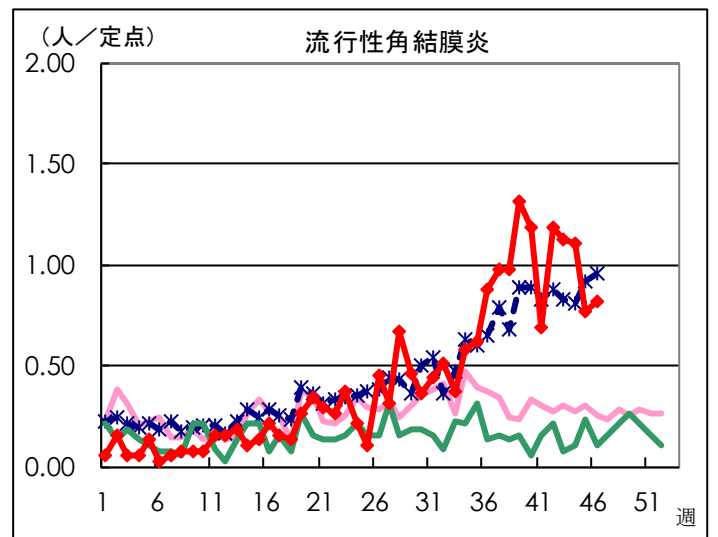
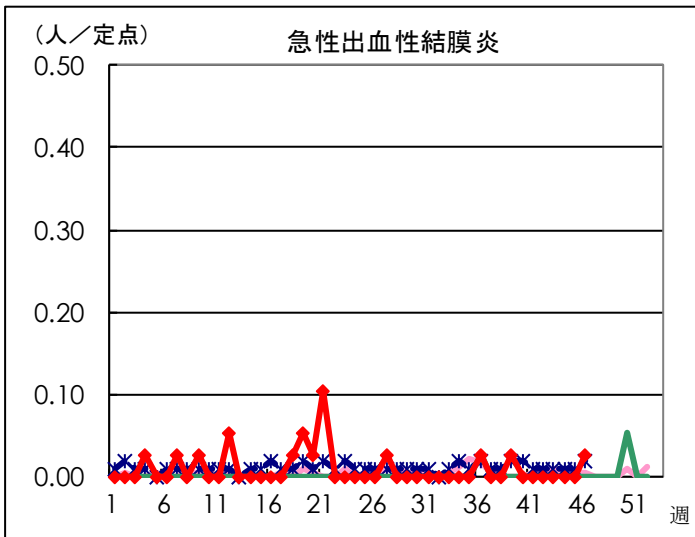
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

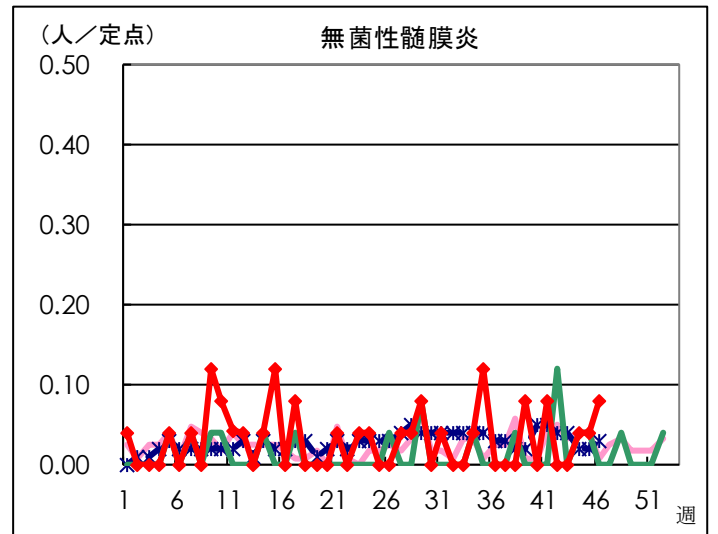
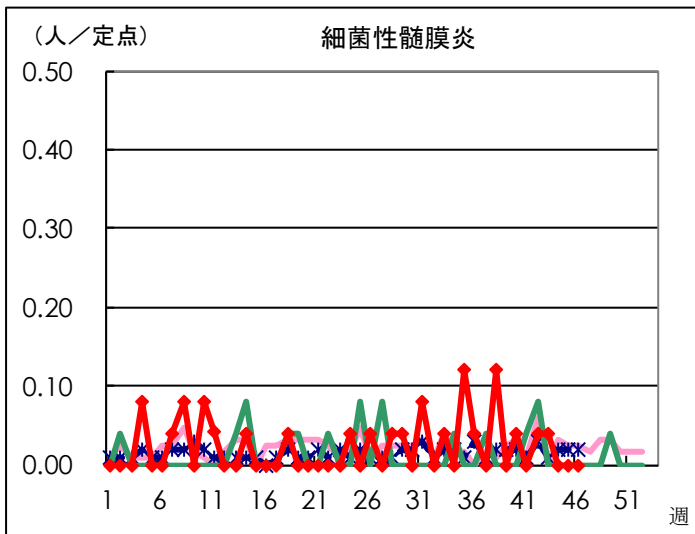
◆ インフルエンザ/COVID-19定点



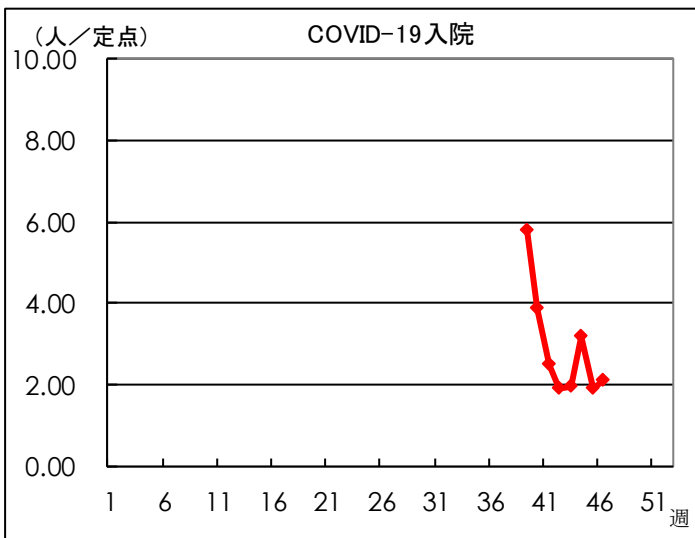
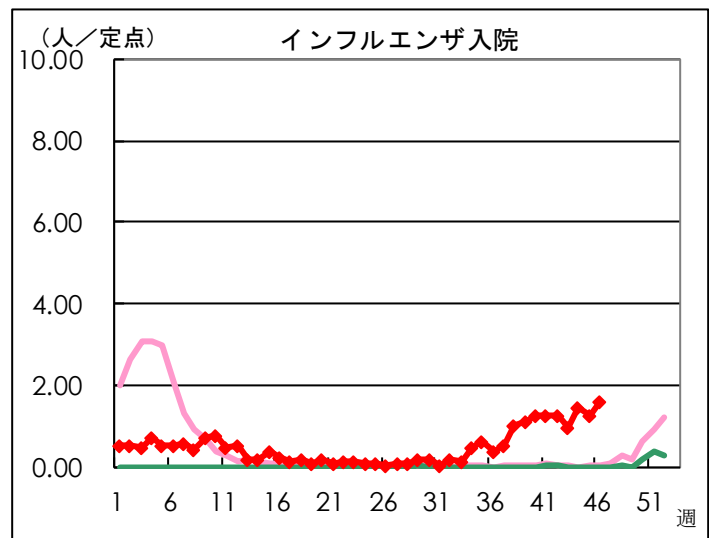
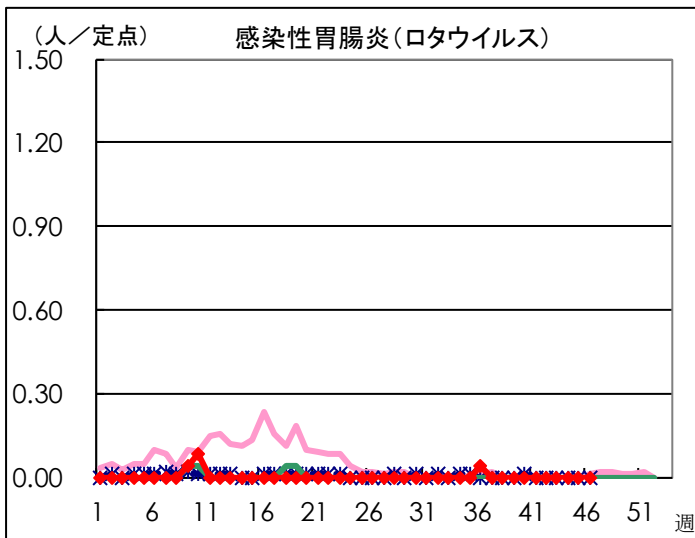
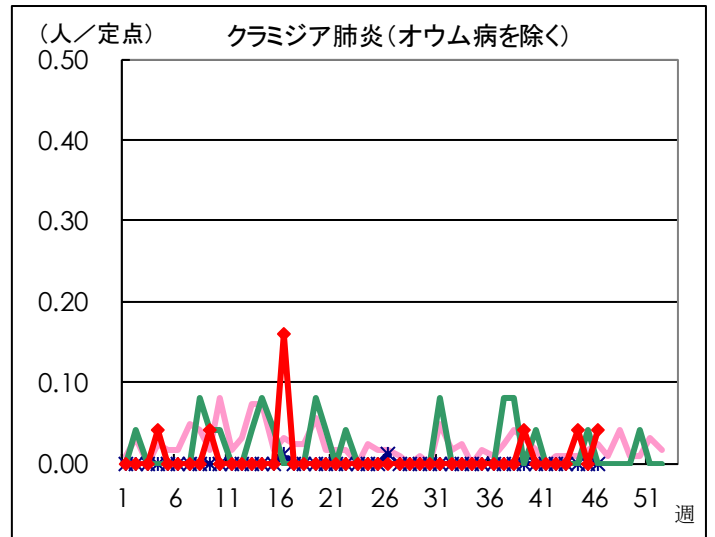
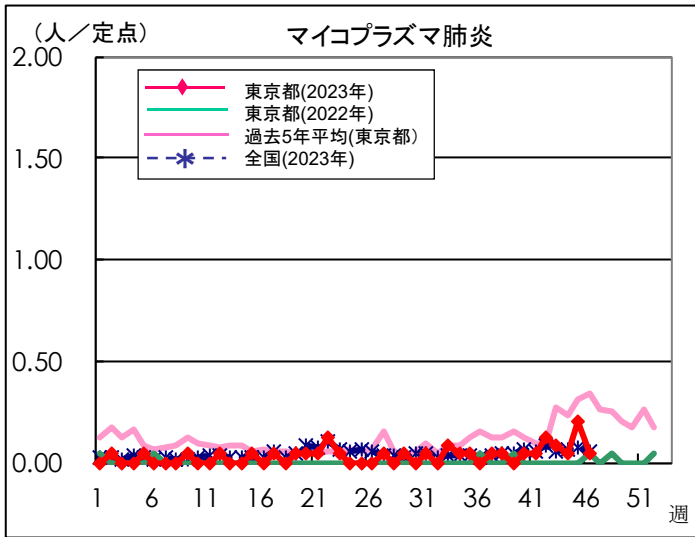
◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
10/26	インフルエンザ	14	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1pdm09 [※] アデノウイルス3型
10/27	インフルエンザ様疾患	6	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB群5型

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2023年44週	8	7	1	
2023-2024年 シーズン累計*	46	59	3	

* 2023-2024年シーズンの開始は第36週(2023年9月4日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2023年							
	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週
アデノウイルス	3	1	6	1	2	4	6	1
コクサッキーウイルスA群	2		1	2	1	1		
コクサッキーウイルスB群						2		1
エコーウイルス				1				
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス			1					
ライノウイルス	2	1	2		3	1	6	
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型			1					
EBウイルス	1							
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻しんウイルス								
麻しんA型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス								
ノロウイルス								
ロタウイルス								
サボウイルス	1			1				
インフルエンザウイルスAH1pdm09	4	3	5	4	3	6	9	8
インフルエンザウイルスAH3亜型	4	5	9	7	6	9	6	7
インフルエンザウイルスB型Victoria系統		1	1					1
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
SARS-CoV-2	2	2				1		
その他のウイルス		1		1				
A群溶血性レンサ球菌T-1型				1		1	1	
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型				1				
A群溶血性レンサ球菌T-12型					1	1		
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型				1	1		1	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2023年37週～2023年44週

	R	S	咽頭	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数			8	10	4		8	1	2		2		7	97	18		18		2		
アデノウイルス			7											2	1		14				
コクサッキーウイルスA群						5								1	1						
コクサッキーウイルスB群			1												2						
エコーウイルス													1								
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス			1																		
ライノウイルス			3			3								1	5	3					
ヒトメタニューモウイルス																					
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス																					
ヒトヘルペスウイルス6型・7型														1							
EBウイルス											1										
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス																					
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風しんウイルス																					
風しん1a型(ワクチンタイプ)																					
ヒトパルボウイルスB19																					
RSウイルス																					
ノロウイルス																					
ロタウイルス																					
サポウイルス					2																
インフルエンザウイルスAH1pdm09															41	1					
インフルエンザウイルスAH3亜型															52	1					
インフルエンザウイルスB型Victoria系統															3						
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																					
SARS-CoV-2															1	4					
その他のウイルス															1	1					
A群溶血性レンサ球菌T-1型				3																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型																					
A群溶血性レンサ球菌T-4型				1																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型					2																
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型					3																
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

<感染症豆知識>

眼科感染症の動向

東京都感染症発生動向調査事業において眼科疾患で対象となっているのは、五類感染症定点把握疾患に指定されている「急性出血性結膜炎」と「流行性角結膜炎」の2疾患である。現在、東京都の眼科診療所および病院眼科の39施設が眼科定点医療機関となっており、毎週患者数が報告されている。

急性出血性結膜炎と流行性角結膜炎は、どちらも非常に感染力が強く、ウイルスが付着した手で目に触れたり、ウイルスで汚染されたタオルや洗面器などに触れることなどで感染する。急性出血性結膜炎は、エンテロウイルス70型及びコクサッキーウイルスA24変異型が原因である。潜伏期は1日で症状は、眼痛、異物感、結膜充血、結膜下出血、眼脂などである。特別な治療法はなく、対症療法を行い約1週間で治癒する。流行性角結膜炎は、アデノウイルスD種の8、37、53、54、56、64/19a型などが原因である。潜伏期は約1～2週間で症状は、結膜充血、流涙、眼脂、耳前リンパ節の腫脹などである。特別な治療法はなく、対症療法を行っても約2週間は症状が持続する。結膜に偽膜を形成する場合もあり、放置すると結膜に癒着を起こすことがある。角膜炎が出現すると角膜の混濁によって視力が低下することもある。

2022年の東京都感染症発生動向調査における急性出血性結膜炎の報告数は3人、定点当たり0.08人で、流行性角結膜炎の報告数は311人、定点当たり8.21人であった。どちらも過去10年間で2番目に少ない報告数であったが、最近の報告数は増加傾向にある。新型コロナウイルス感染症の五類移行による人流の増加が要因と考えられる。

(文責 いなげ眼科(東京都眼科医会) 稲毛佐知子)